

## 周南医療圏地域医療構想調整会議（令和元年度第2回）議事概要

【日時】 令和2年1月30日（木） 15:00 ～ 16:00

【場所】 山口県周南総合庁舎703会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

- 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証や重点支援区域について説明を行った。
- 第2回病床機能検討部会協議結果を報告し、公的医療機関等2025プランの見直しや有床診療所の対応方針を協議した。
- 山口県医師確保計画（素案）及び山口県外来医療計画（素案）について説明を行った。

### 【議事内容】

#### 1 令和元年度第2回病床機能検討部会の協議結果について

事務局から、有床診療所の「医療機関2025プラン」等の具体的な計画及び新南陽市民病院の公的医療機関等2025プランの変更点等について、病床機能検討部会において合意されたことなど、議事概要の報告を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

#### 2 令和7年（2025年）に向けた（具体的）対応方針の決定について

事務局から、有床診療所の「医療機関2025プラン」の対応方針について説明を行った。

また、再検証対象医療機関となった新南陽市民病院から、具体的対応方針の再検証について、一部病床を急性期機能から地域で不足している回復期機能へ転換する旨の見直しについて説明を行い、病床数の内訳等については、再度確認を行うこととなった。

今後は、当構想区域全体における、領域ごとの2025年の各再検証対象医療機関の役割の方向性等について検討し、当構想区域全体の2025年の医療提供体制について改めて協議していくこととした。

(主な意見・質問等)

- 再検証対象医療機関となった新南陽市民病院について、何か具体的な改善策はあるのか。
  - ⇒ 一部病床を、急性期病床から回復期病床へ転換し、地域の医療に対応するとともに、診療報酬改定に併せ、DPC病院に移行することを検討している。
- 新南陽市民病院の2025プランの変更は再検証には当たらないのか。
  - ⇒ 国は医療機関の地域で果たす役割の検証と、構想区域全体の病床機能等の検証を求めている。具体的な検証方法については、現在検討中であり、後日改めて協議をお願いしたい。
- 新南陽市民病院以外の再検証対象医療機関となった徳山医師会病院、光市立光総合病院、光市立大和総合病院についても、今後、できるだけ早く、当調整会議での協議を行ってほしい。

### 3 国が示す「具体的対応方針の検証に向けた議論の整理」への対応

県医療政策課から、国の通知に基づき、「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」及び「重点支援区域の申請について」の説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 重点支援区域について、周南圏域ではどのような関わり方になるのか。
  - ⇒ 当面、情報提供となる。なお、重点支援区域でなくとも、資料3-3に記載されている病床ダウンサイジング等の補助金については対象となる。

### 4 「医師確保計画」及び「外来医療計画」(素案)について(情報提供)

県医療政策課から、山口県医師確保計画(素案)及び山口県外来医療計画(素案)について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 医師確保について、具体的な方策はあるのか。
  - ⇒ 臨床研修・専門研修に係る合同説明会の開催などを通じ、専攻医50名の確保を目指すこととする。ただし、現状を鑑みると、将来的には70名の確保が必要と考えており、これに向けて取り組んでいきたい。